



PORTFOLIO

OCA 大阪デザイン&テクノロジー専門学校

CGクリエイター専攻 3年

MAEDA

RUI

前田琉生

自己紹介



前田琉生
Maeda Rui

希望職種
背景デザイナー

OCA 大阪デザイン&テクノロジー専門学校
CGクリエイター専攻
3年制 3年

生年月日 : 2003/09/05
出身地 : 大阪府

資格 : 全日本剣道連盟剣道三段

使用ソフト



趣味特技

映画、アニメ鑑賞



剣道

小学4年生から剣道を始め、
中学、高校と部活や道場での厳しい練習を重ねてきました。
その結果、現在は3段の称号を所持し、今も道場に通い続けています。
この長年の経験を通して培った継続力や持続力をCG制作に生かしたいと思います。



背景モデリング



3DCG

LIBRARY

使用ソフト



自主制作



制作時間

200 時間

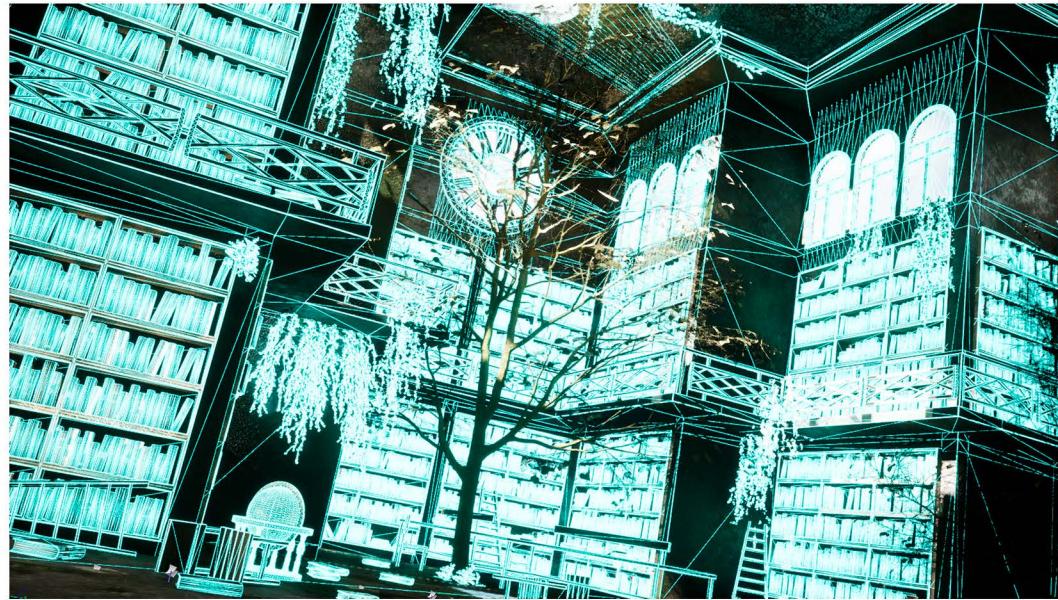
制作時期

2年後期

ポリゴン数

1,760,689

ワイヤーフレーム



ライティング



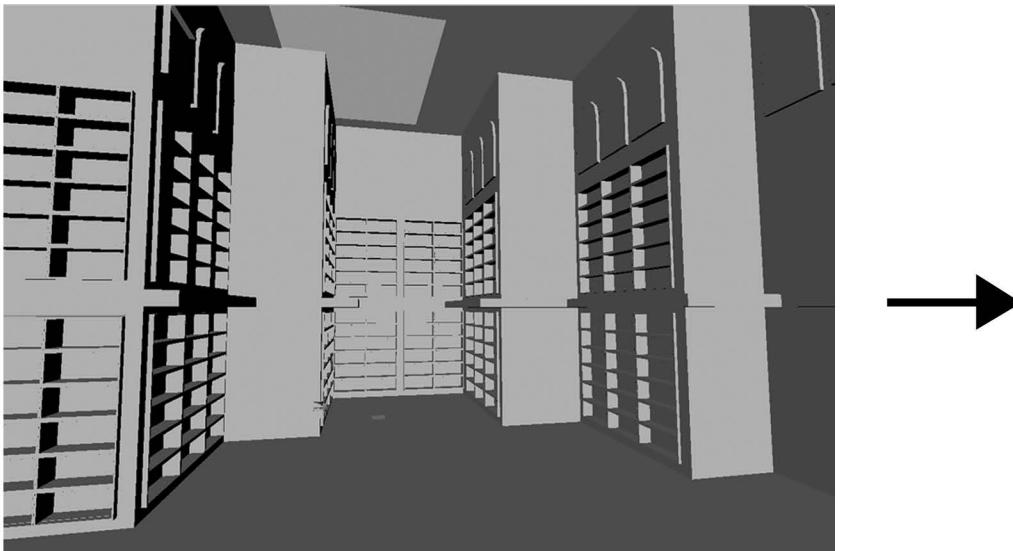
別ショット



初めての Unreal Engine5 での制作過程



作りたい背景を決め、リファレンス探し
リファレンスが見つかったら Maya での作業



最初はラフモデルを作り、全体図を決めていきました。
カメラワークを決め、焦点距離を調整して、必要な
モデルのリファレンスを探し、作品に似合うモデルを
作り始めました。

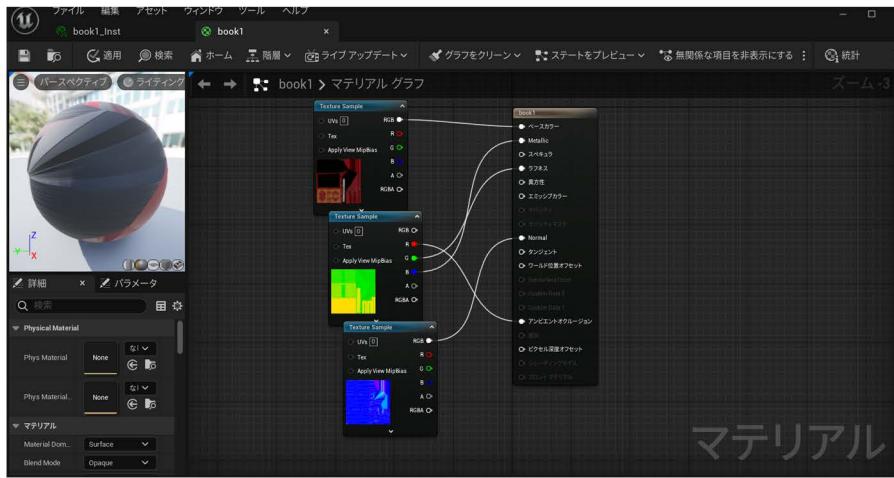
幻想的な背景が作りたいと思い、調べていると
ミニチュアで制作された図書館を見つけました。
本の数が凄まじく、大変だと思いながらも、
作ることを決意しました。制作期間を視野に入れ
スケジュールを組み制作をスタートしました。



モデルを配置していく上で一番難しかったことは、
本の配置です。ただ本棚に収納してコピーペーストで、
配置するのはリアルさがないため、とても時間がかかり
ましたが、全て一つ一つ本を配置していき調整しました。

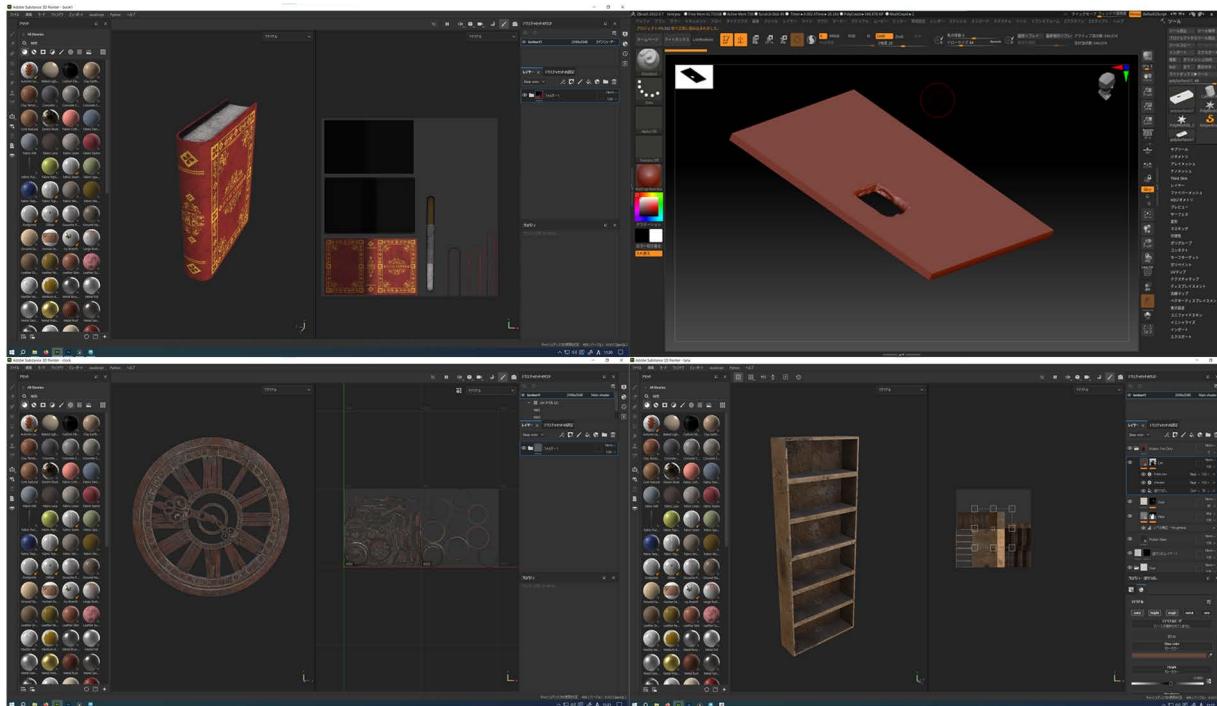
初めてのUnreal Engine5での制作過程

Mayaでの作業を終え、初のUnreal Engine5へ



最初はUEの使い方から調べ、モデルの持つていきたや、テクスチャのつけ方など基本のことから始めました。途中分からず、つまづくことも多く、泣きそうになりながらも、UE5での制作をスタートしました。

モデルの配置が終わったら Substance Painter でテクスチャ作り



一つ一つ作品に合うように、テクスチャを作っていました Zbrushを使って、傷をつけたり削ったりして古臭さなどを、表現しました。本は18種類ほどテクスチャを作りました。

初めての Unreal Engine5 での制作過程

テクスチャを貼り終えいよいよライティングへ



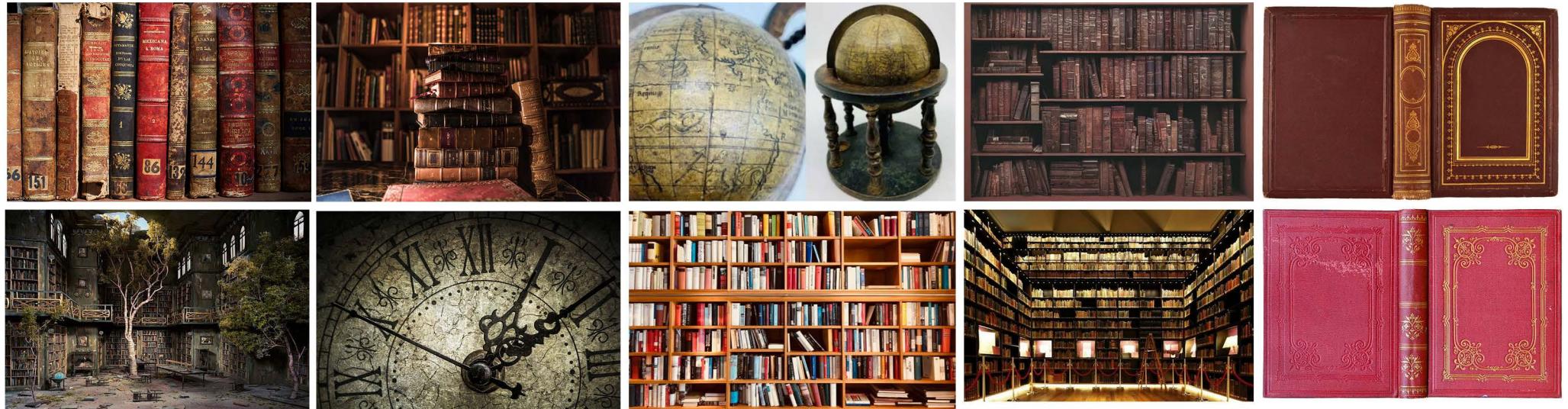
植物が突き抜け穴が開いた天井や窓から光を入れ、植物が光合成しているようなライティングにしました。誰も使わなくなった古い図書館が神秘的、幻想的な空間になるように意識してライティングをしました。

全ての作業を終え、Photoshop でレタッチ



CameraRaw フィルターを使い、強すぎる光を抑えつつ、幻想的な空間を作るため、ぼかしやブラーをかけ色味も変えました。納得がいくまで、何回も調整し、制作当初に思い描いていた背景が完成しました。

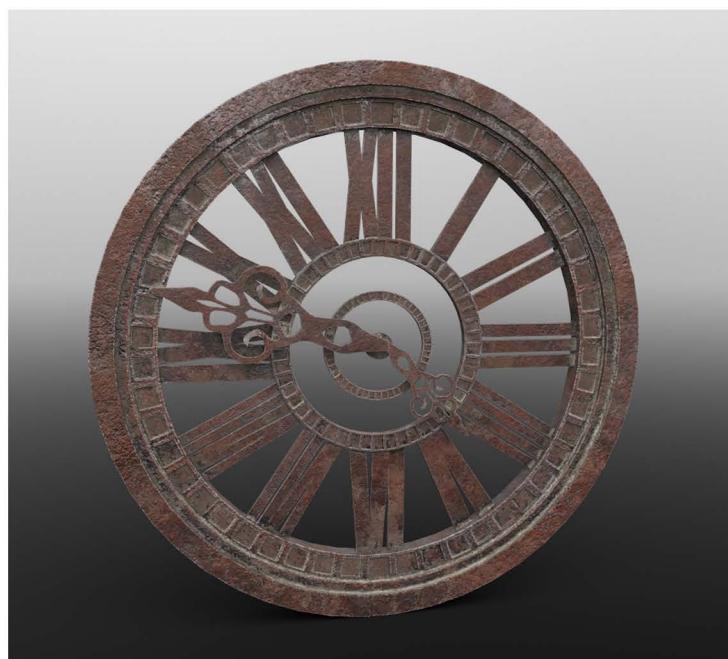
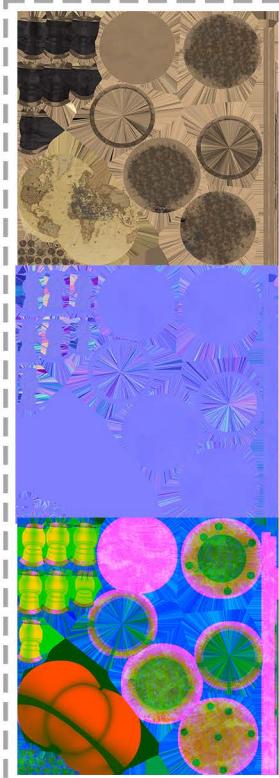
リファレンス



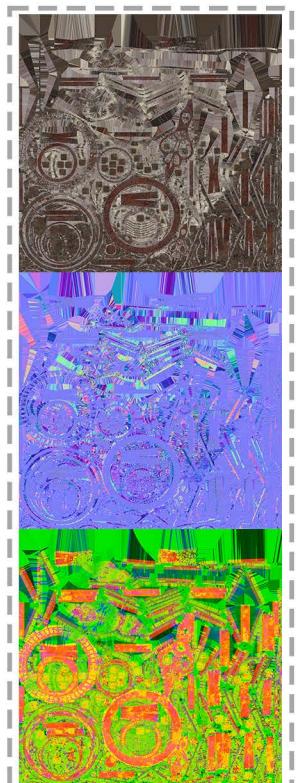
アセット ※テクスチャサイズ 2048×2048

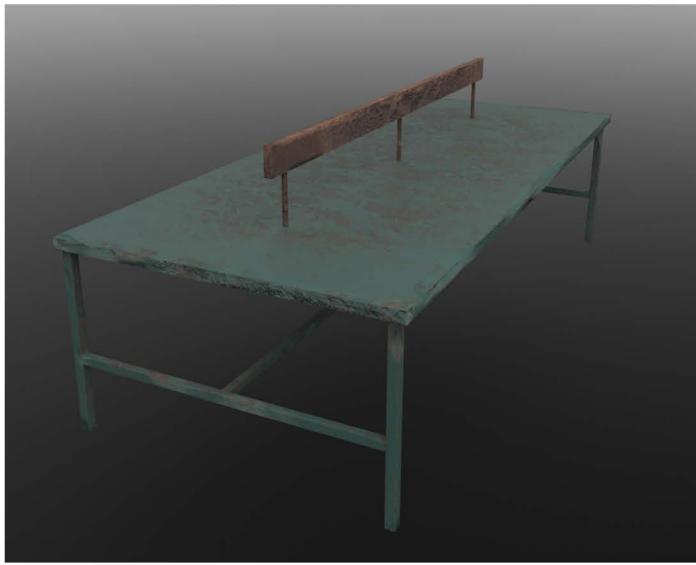


古びた地球儀

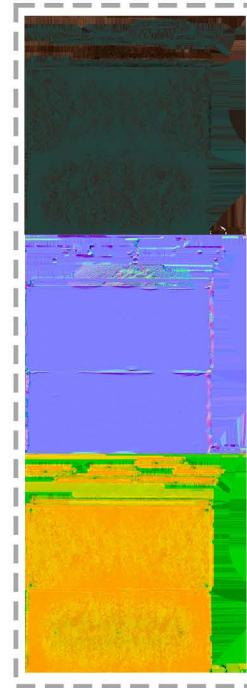


錆びた時計

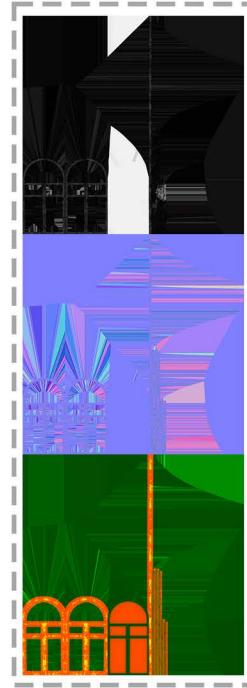




汚れた机



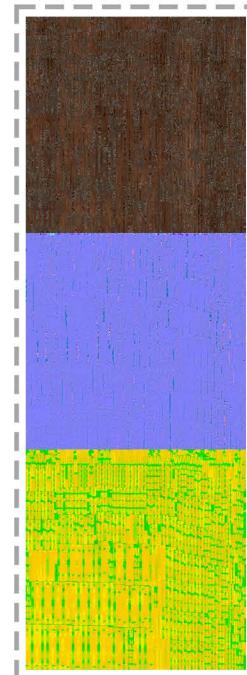
汚れた窓



ささくれた梯子



汚れた柵

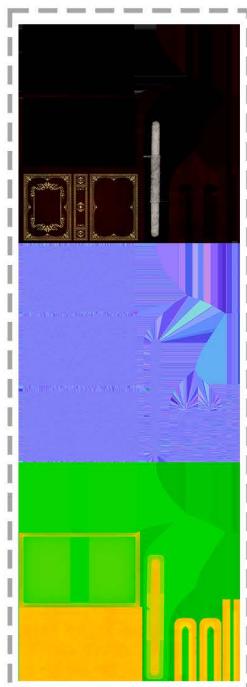




汚れた椅子



汚れた本



この種類は全部で 18 種類ほどあり、一つ一つテクスチャをつけました。汚れた感じもリフレンスを見ながら作っていきました。どの本も作品の世界観を壊さないように雰囲気に合っているテクスチャを探して作成しました。



自主制作

3DCG

SEWER

使用ソフト



制作時間

180 時間

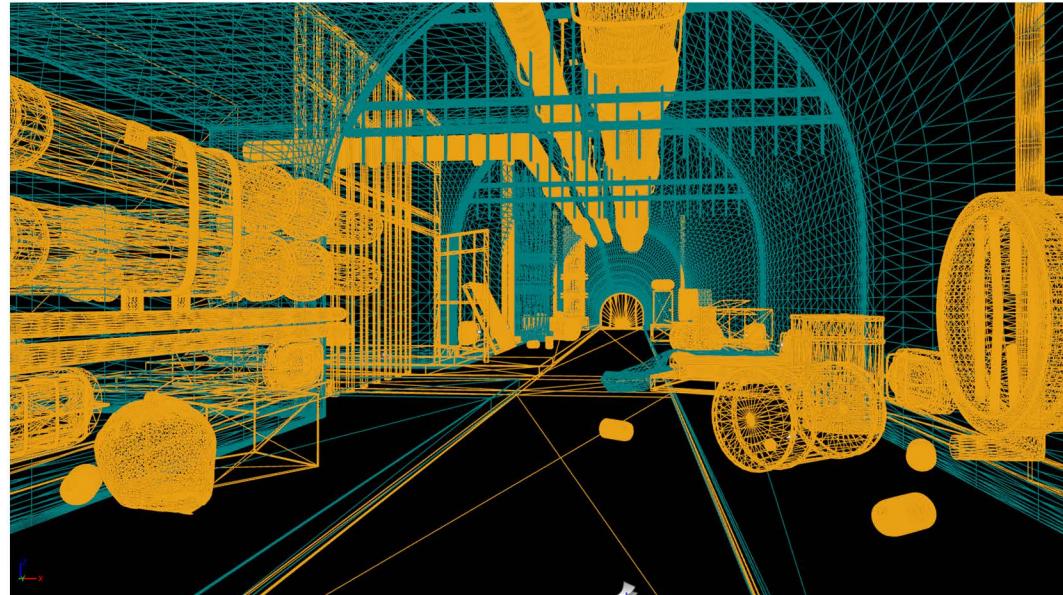
制作時期

2年後期

ポリゴン数

285,566

ワイヤーフレーム



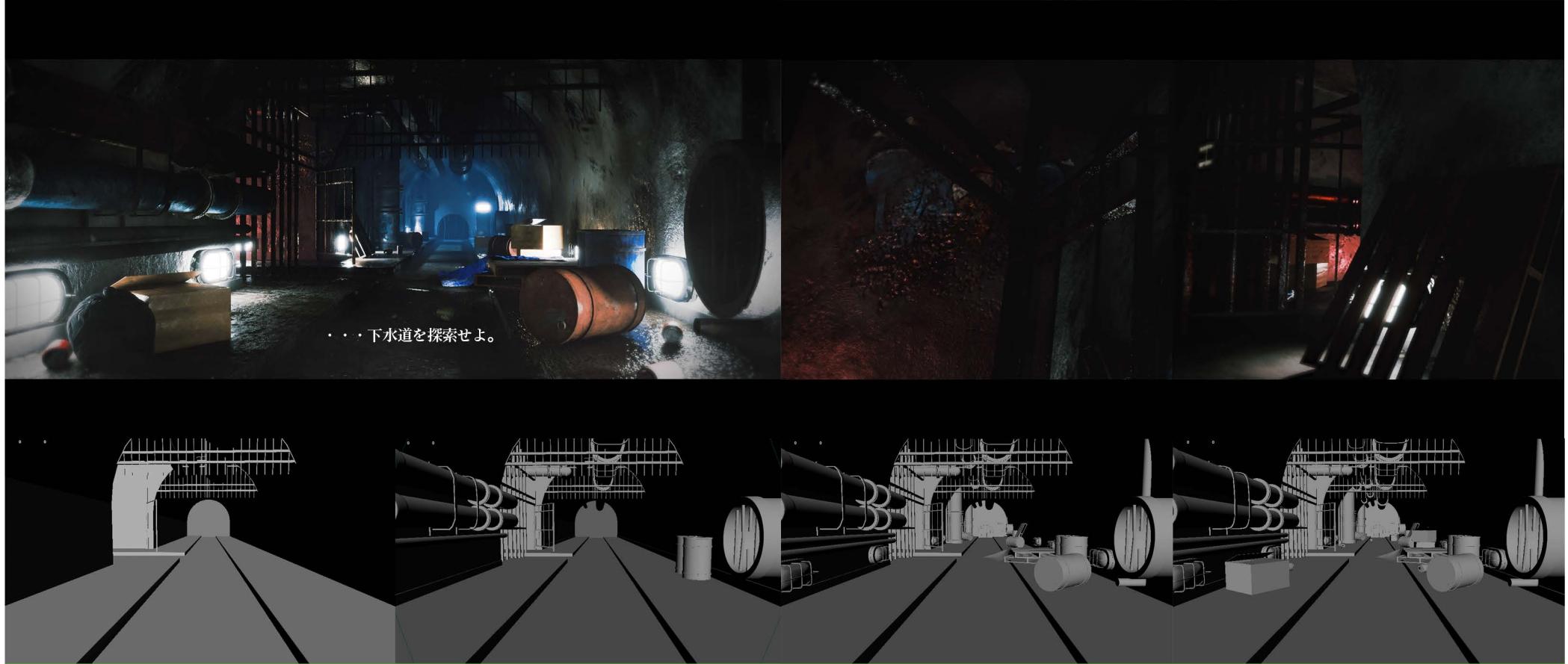
ライティング



別ショット

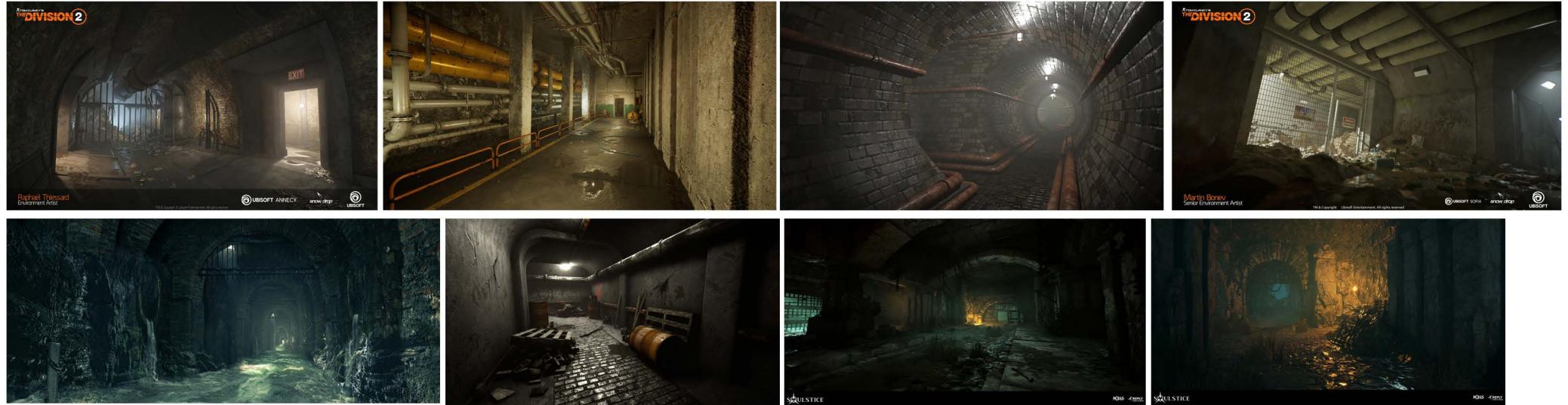


コンセプト



オープンワールドのアクション RPG のマップに出てきそうな下水道を制作しました。突如としてモンスターが襲ってくる可能性がある世界観を演出するため、ライティングに特に配慮しました。明るすぎず暗すぎずのバランスを保ちつつ、先が見えない方向には赤いライトを配置し、何かが潜んでいるような印象を与え、プレイヤーの不安感を高める演出を施しました。この制作において、リファレンス探しに多くの時間を費やし、様々なモデルを制作しました。細部までこだわったデザインと演出を通じて、プレイヤーに没入感と興奮を与える作品にしました。

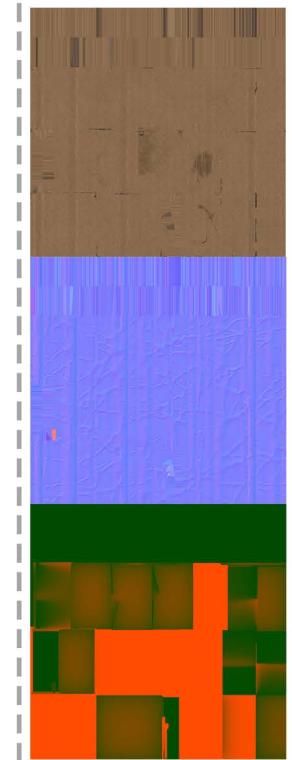
リファレンス



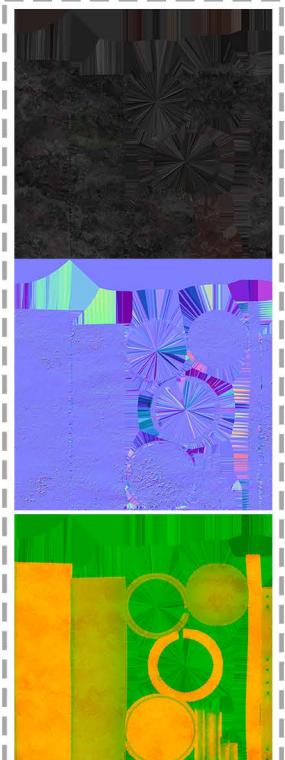
アセット ※テクスチャサイズ 2048×2048



ダンボール



下水管

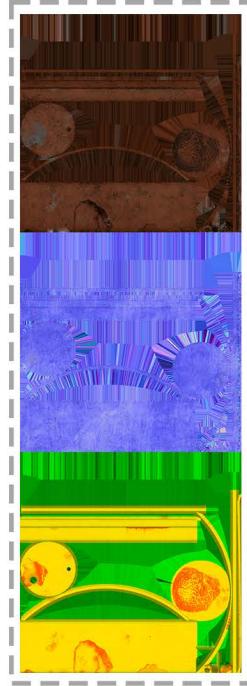




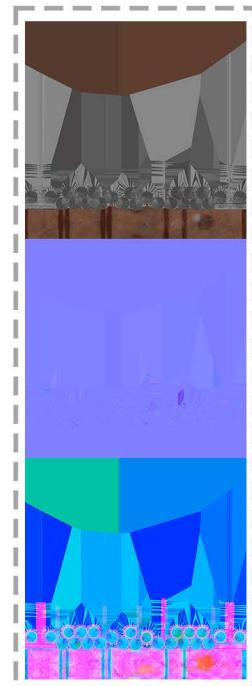
ドア



ドラム缶

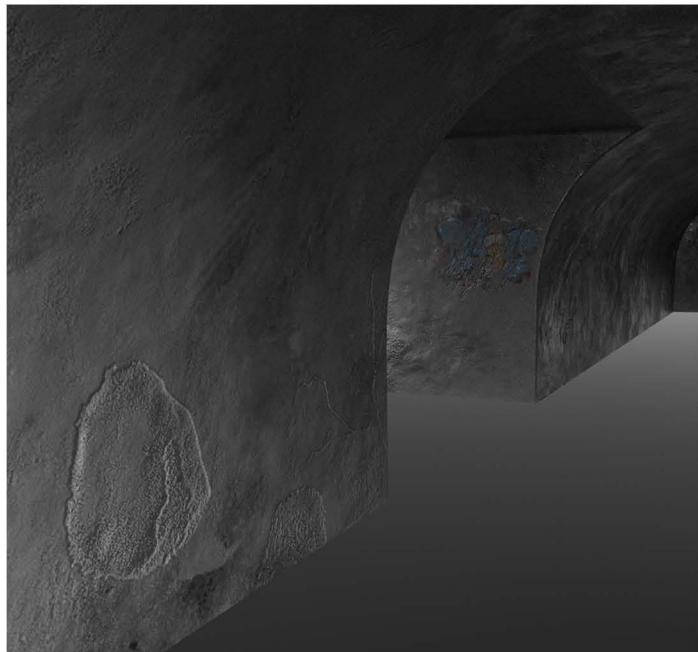


パイプ

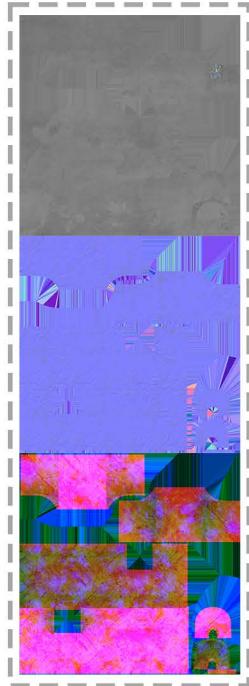


柱

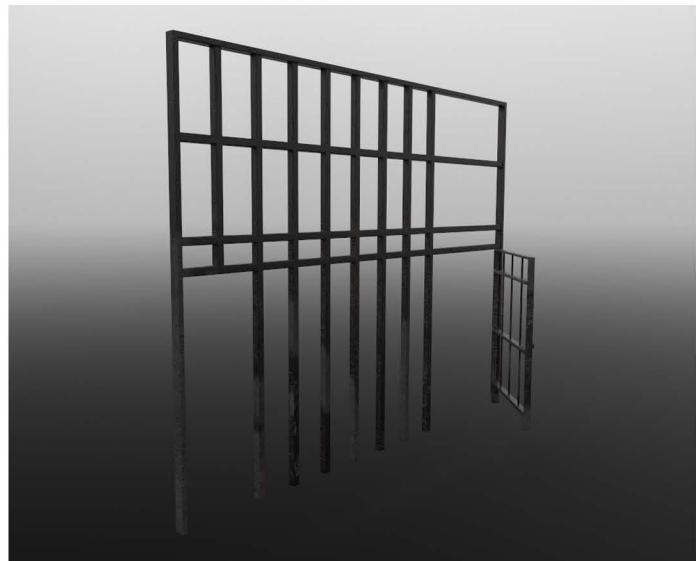
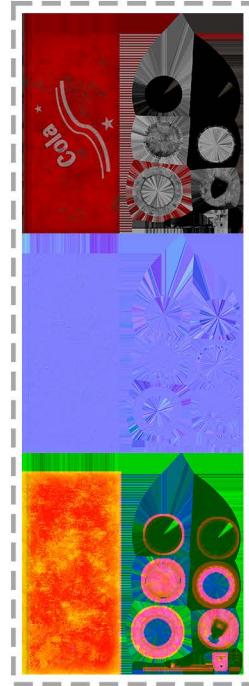




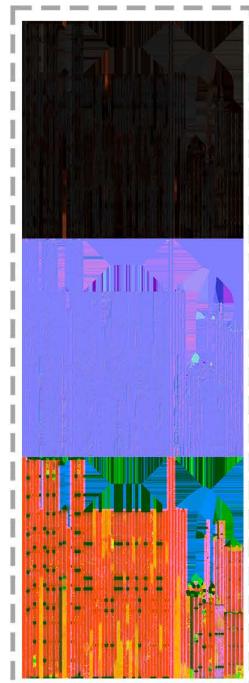
壁



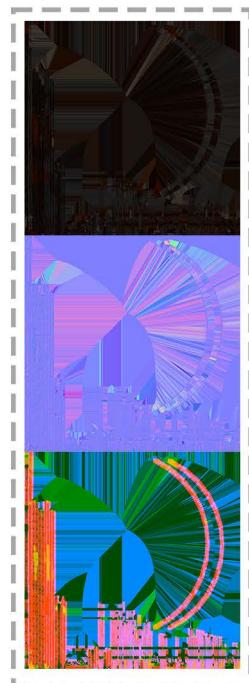
空き缶



鉄格子

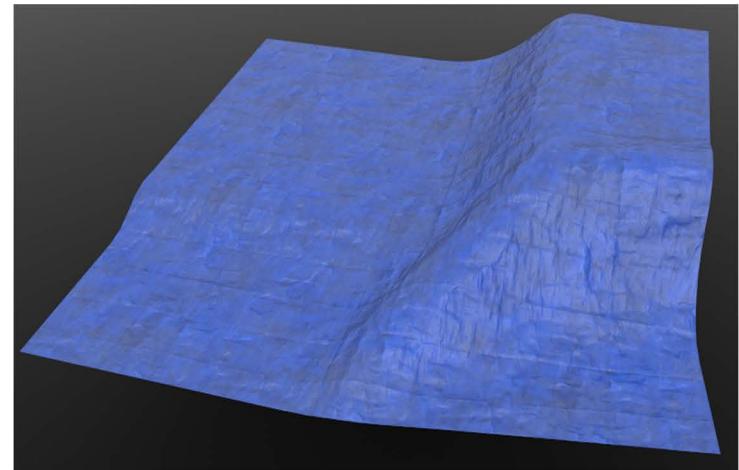
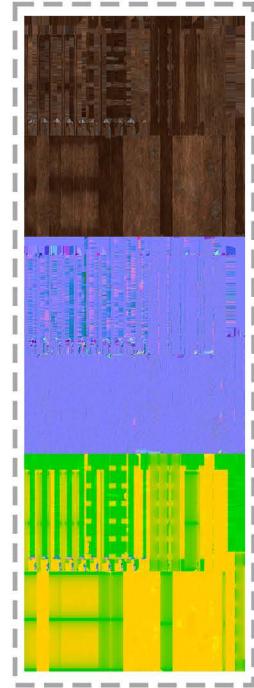


天井

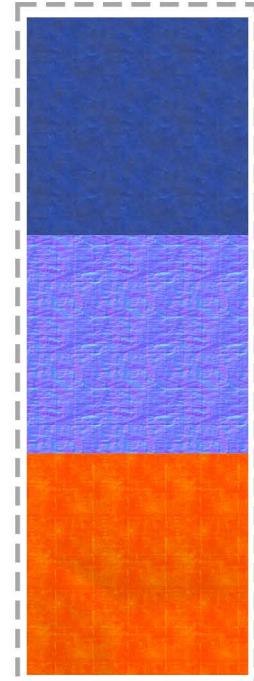




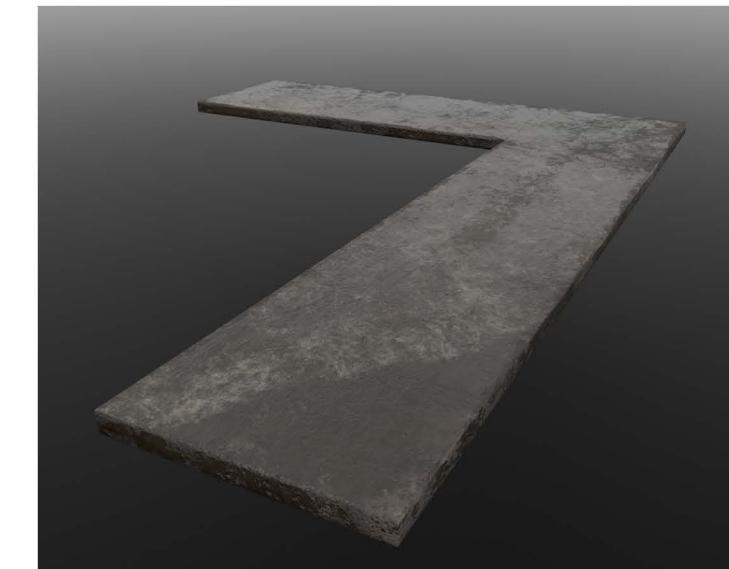
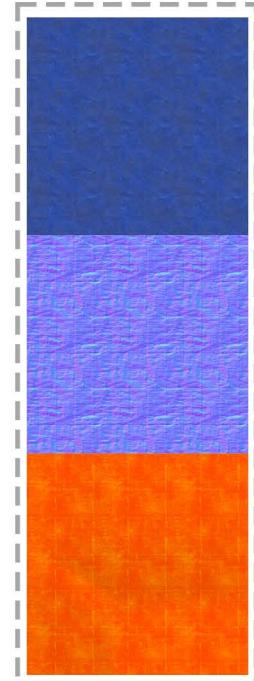
パレット



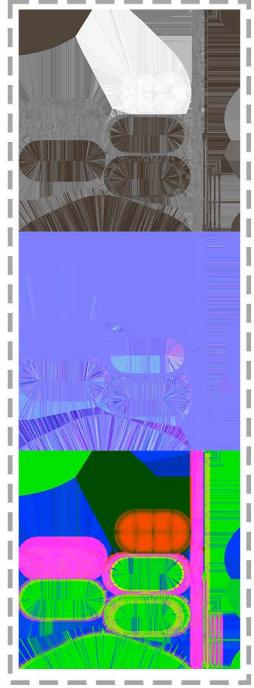
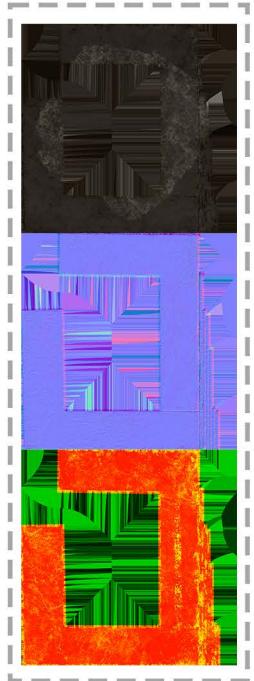
ブルーシート



ライト



床





WELCOME
OPEN

CAFE MR.

CAFE
GLARRING

自主製作

3DCG

CAFE

使用ソフト



制作時期

2年前期～

制作時間

120時間

総ポリゴン数

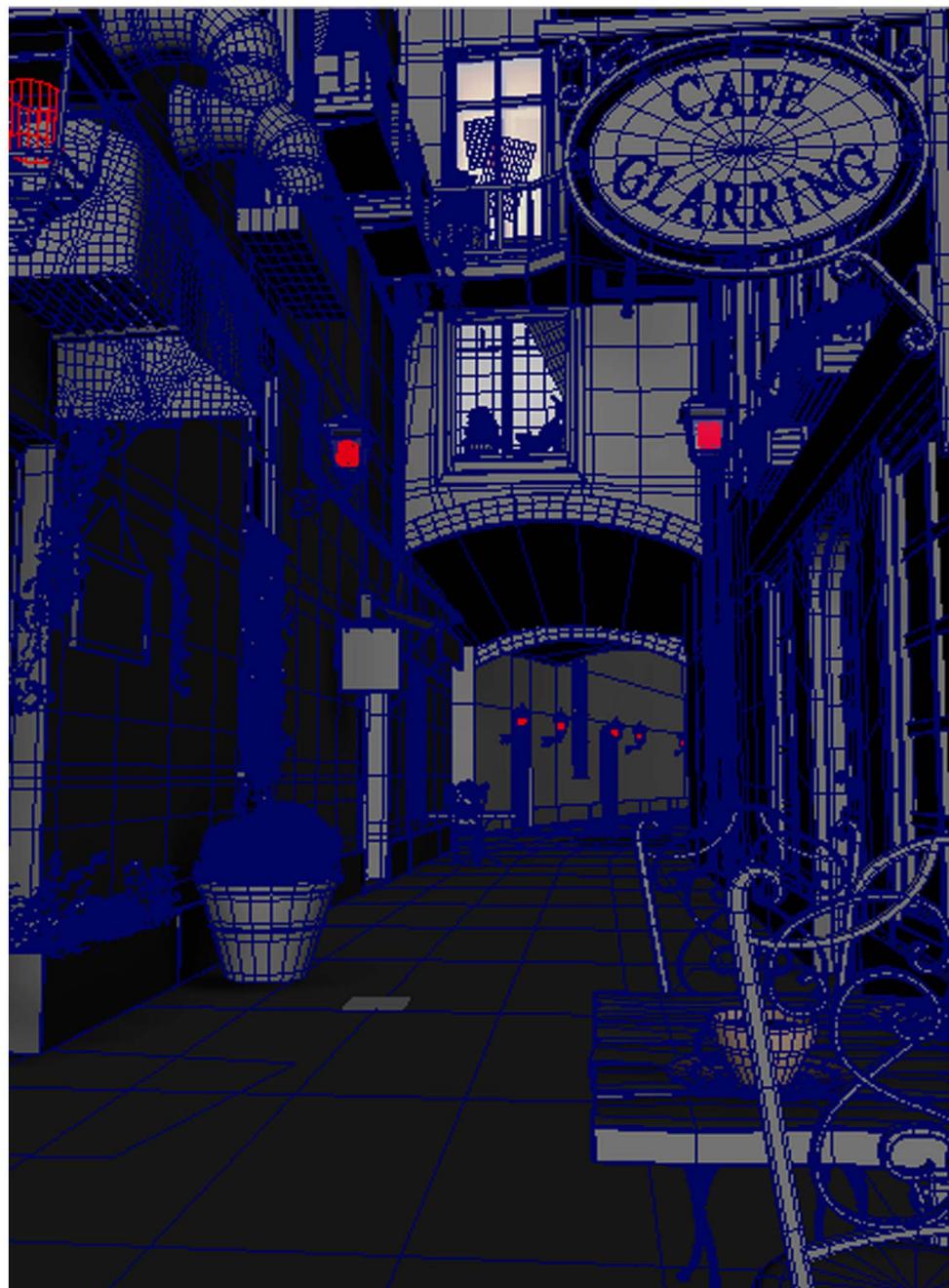
545,008

おしゃれなカフェが並ぶ路地を制作しました。

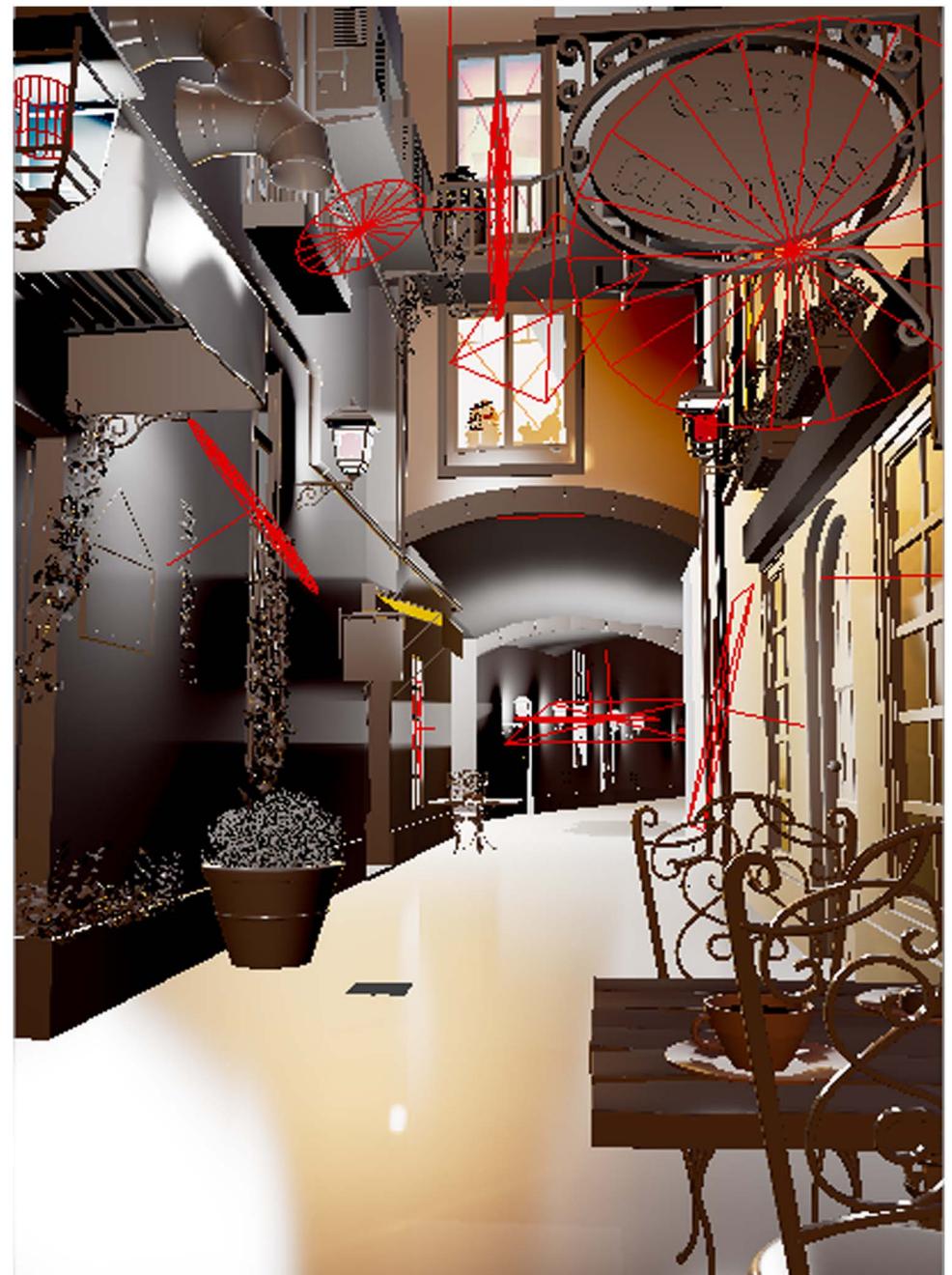
tutorial を参考にしながら、初めてサブスタンスペインターと Zbrush を使い、いろいろ学べていい作品ができました。



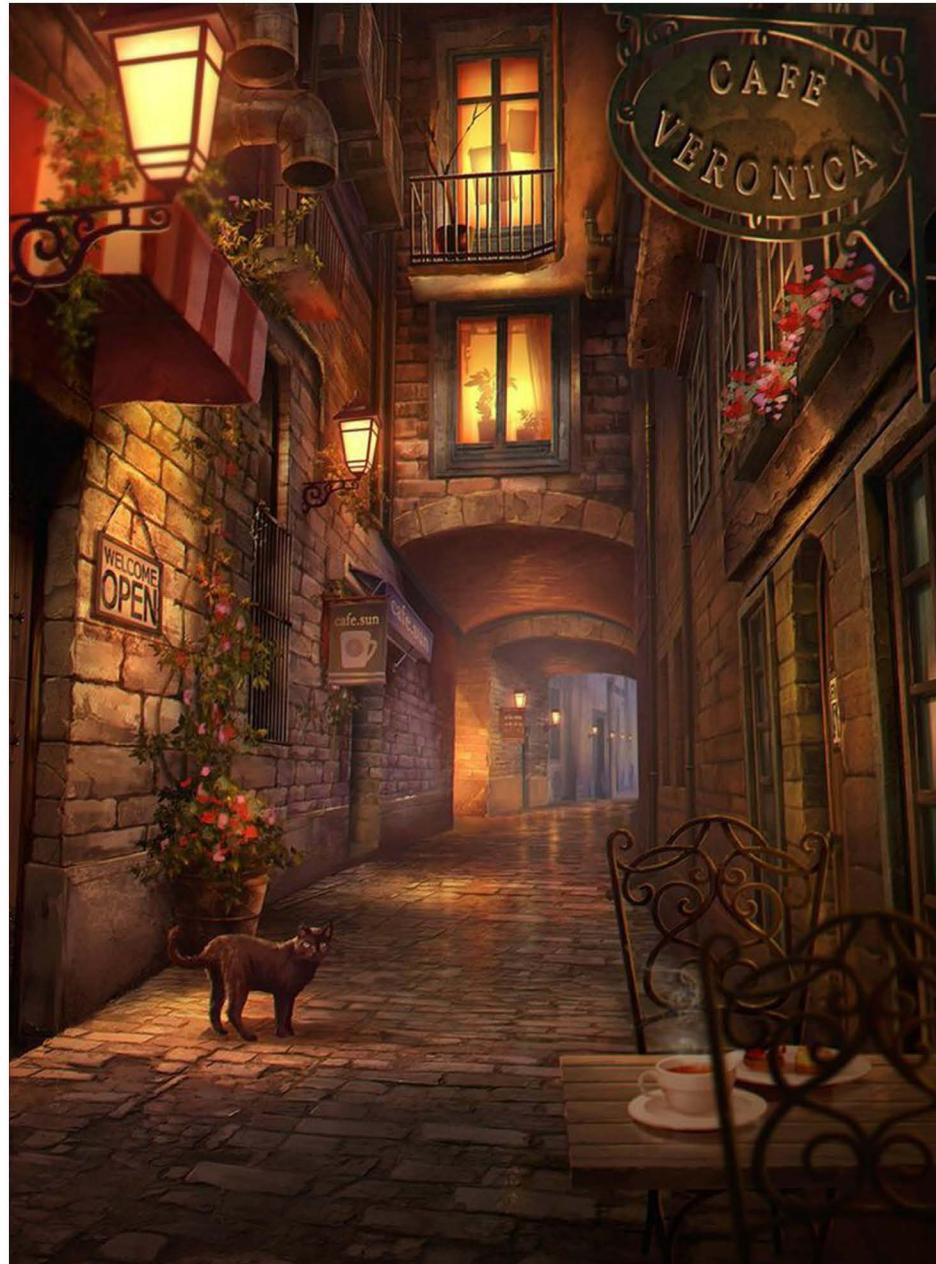
ワイヤーフレーム



ライティング



リファレンス



アセット



換気扇



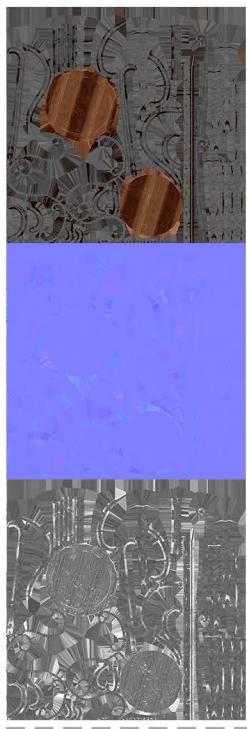
ダクト

※ テクスチャサイズ 2048×2048

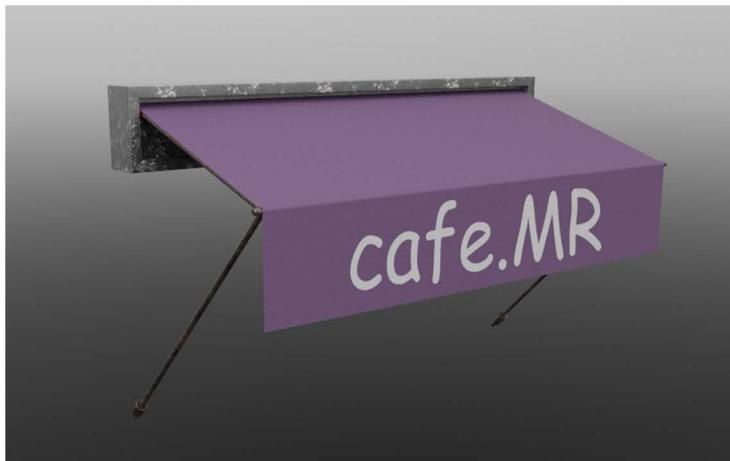




椅子



看板 2



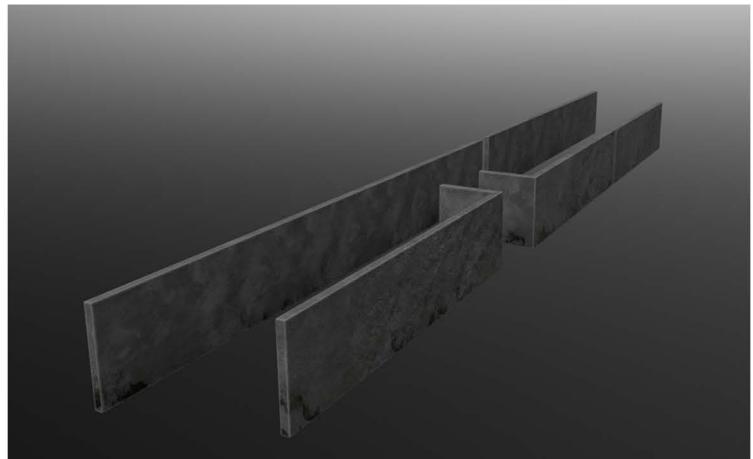
看板テント



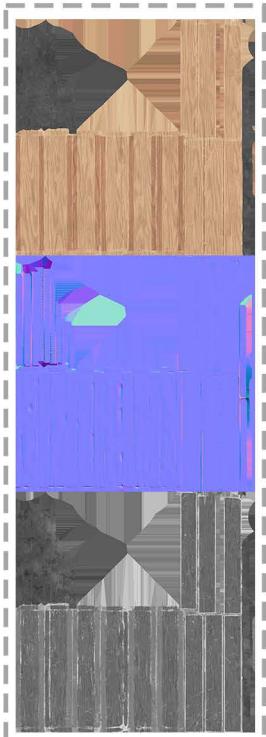
看板



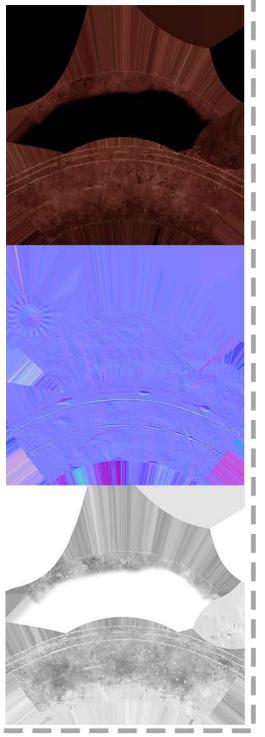
机



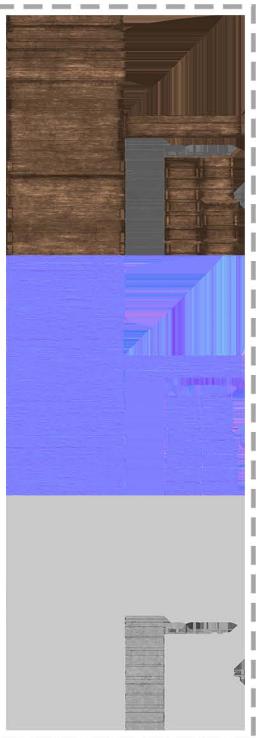
屏



植木鉢



植木鉢 2

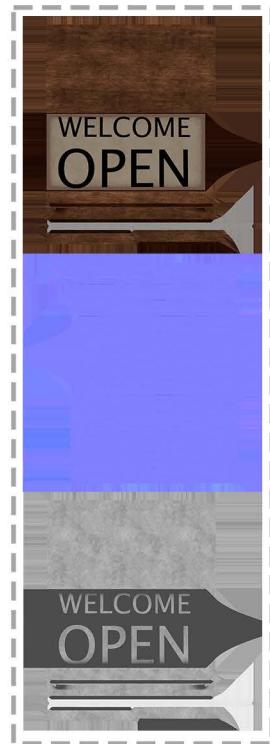
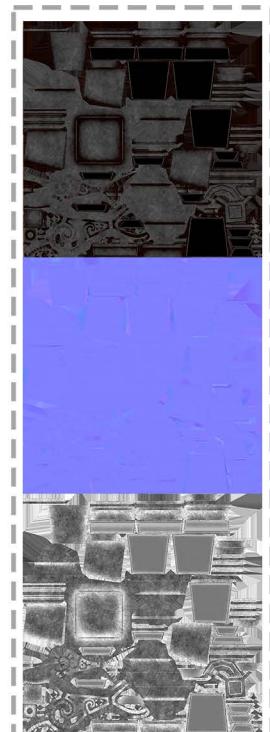




ランプ



サインボード



ドア

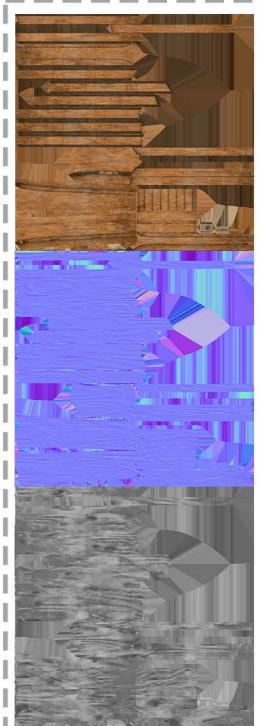


パイプ





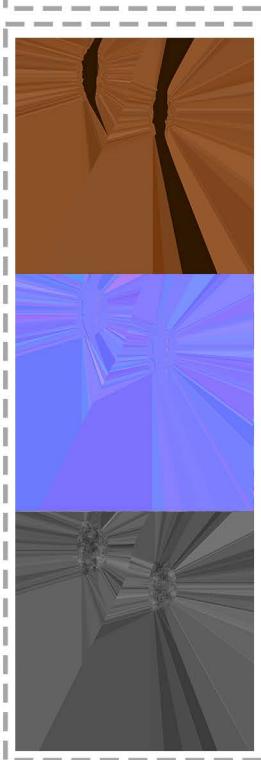
ドア 2



窓



ドーナツ



アセット

ハイリアの盾 使用ソフト



制作時間

40 時間

制作時期

2年前期

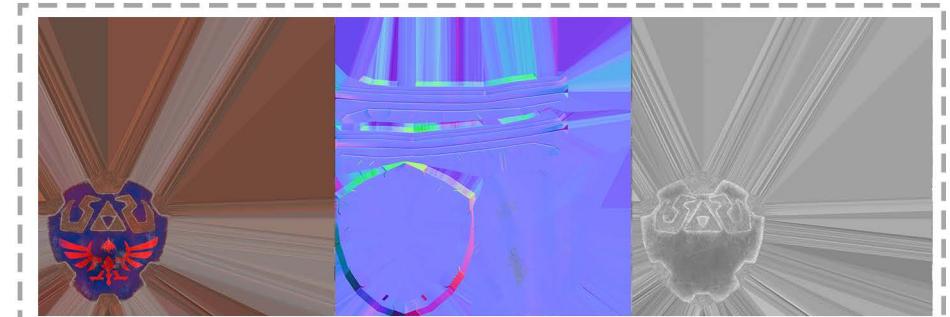
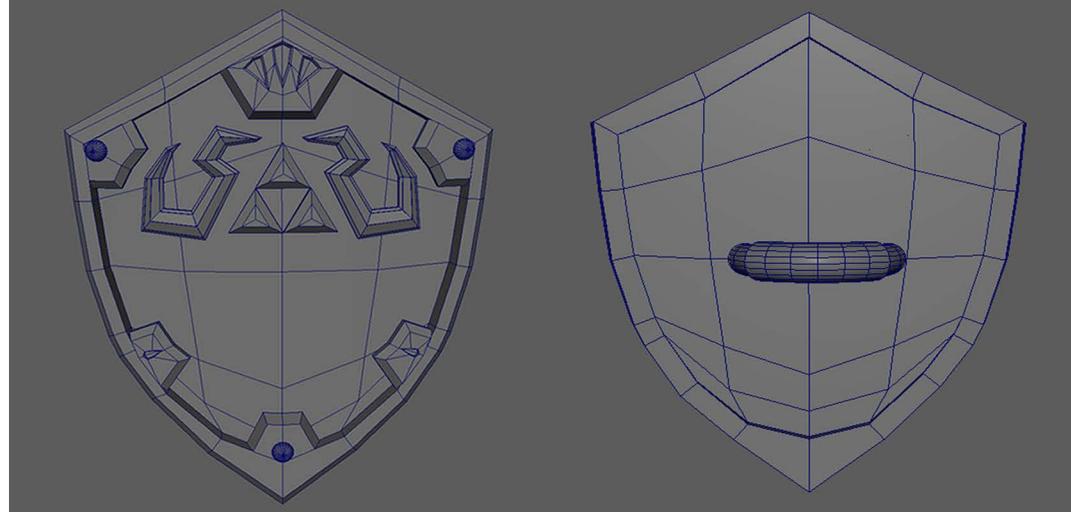
ポリゴン数

4,016

コンセプト

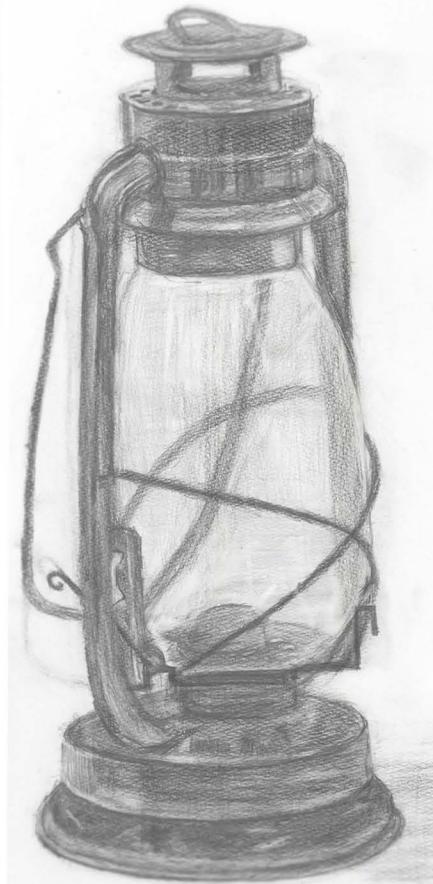


ゼルダの伝説に登場する伝説の盾「ハイリアの盾」を制作しました。授業で武器を製作する課題が出され、新作のティアーズ オブ ザ キングダムが発売されていたので思いつきで製作しました。こだわったポイントは、何回も攻撃を防いできた傷跡やさび付いている部分を細かく表現しました。

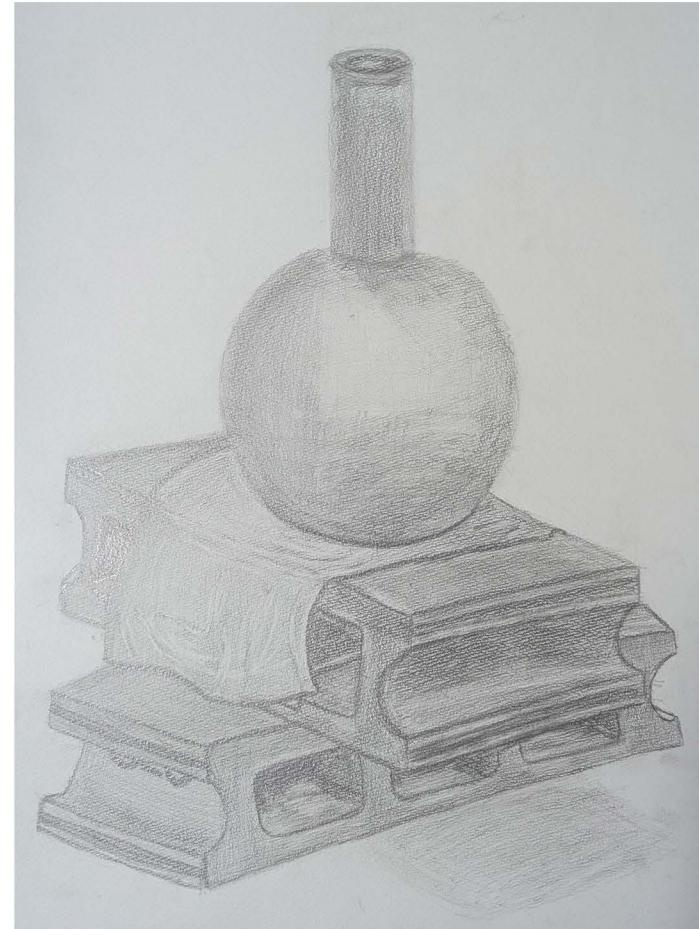


デッサン

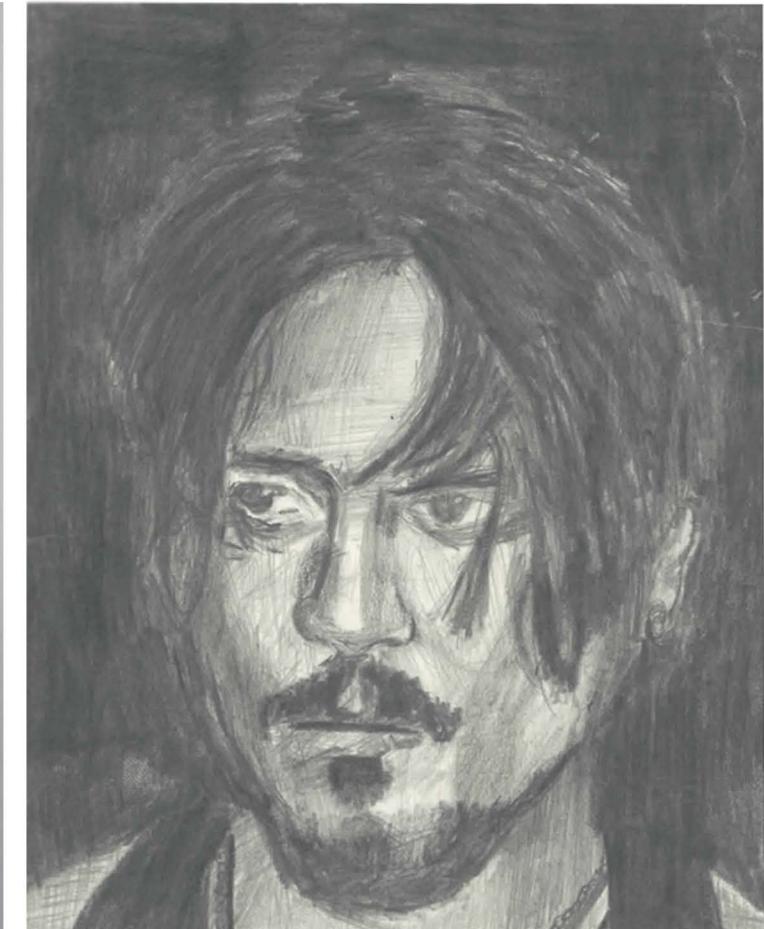
デッサン



ランプ
制作時間 : 9 時間



ブロックと壺
制作時間 : 9 時間



ジョニー・デップ
制作時間 : 9 時間

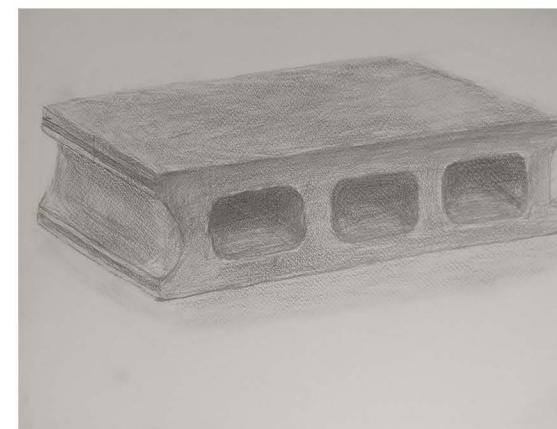
デッサン



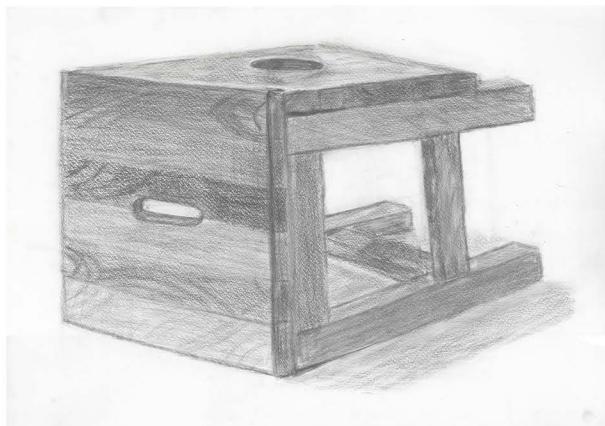
レンガとポットとトング
制作時間 :9 時間



コーヒーセット
制作時間 :9 時間



ブロック
制作時間 :9 時間



椅子
制作時間 :9 時間



靴
制作時間 :9 時間



Thank you

OCA 大阪デザイン&テクノロジー専門学校
CGクリエイター専攻 3年

MAEDA

RUI

前田琉生